

平成28年度 ふくい女性活躍推進企業

# グッドジョブ 女性表彰

Good Job  
Woman

福井県では平成29年2月20日に「ふくい女性活躍推進企業」に登録された企業の中で、特に優れた成果を上げた10社の女性(グループ)を表彰しました。

#### 表彰の対象者

- ・企業内において、新規プロジェクトの推進や、新たな製品、商品、サービスの企画・開発等に貢献した女性(グループ)
- ・特段の営業成績を上げるなど企業内で優れた成果を上げた女性(グループ)



西川一誠福井県知事から受賞者に表彰状をお渡ししました。



## 株式会社福井銀行 「ダイバーシティ推進PT」の皆さん

職員の満足(働きがい)とお客さま満足度の向上を目指し、地方銀行として地元に密着。

### 様々な支援制度で 女性の自己実現を促す。

一言で人財育成と言っても方法は様々だが、同行では、年齢や性別に隔たりなく集めた12人のチームを作り、5カ年計画で「職場環境の整備」と「キャリアアップ支援」の両面から取り組んでいる。その活動内容は多項目にわたり、具体的にはキャリアアップのための女性異業種交流会を開催したり、育児後に復帰した女性の労働時間を改善するなど。以前は管理職を目指すことに消極的だった女性職員も、キャリア研修を受けたら、自信が生まれ、自己成長につながっている。



全職員の半分以上が女性。全国地方銀行64行のうち3番目に女性が多く、サポート体制の充実に努める。



株式会社そごう・西武 西武福井店「LE エリアモードチーム」の皆さん  
地域一番の品揃えとサービスで、  
何度も足を運びたくなる「地元密着型百貨店」を目指す。



防臭・防菌加工されたマスクケース、越前焼カップ、  
フランス人デザイナーとコラボしたバッグも人気。

「リミテッドエディションエリアモード」は、地域色が持ち味のプライベートブランド。昨年の販売実績は全国西武・そごう16店舗中、福井店は2位と好成績を残す。売り場スタッフが福井の伝統工芸職人や織維メーカーらと共同企画し、越前和紙の髪留めや吸水傘ケース等、ファッションと伝統工芸を融合させた商品が生まれた。「ターゲットは福井の働く女性でしたが、贈答にも喜ばれています」。制作に携わった販売員の接客で、売れ行きも上場だ。

### 福井の魅力ある 地場製品の販路拡大に成功。



株式会社福邦銀行 片山 紗来さん  
「ゆめBANK 福邦銀行」のフレーズでおなじみの  
地域金融機関。



「女性目線での融資のアドバイスがもらえるのでありがたい。」  
とお客様や行員からの信頼も厚い。

### 中小企業診断士として 経営者の頼れるパートナー。

中小企業診断士を目指す女性の割合が極めて少ない中、その狭き門を突破し、県内金融機関で女性として初の中小企業診断士の資格を取得した片山さん。現在は同行の融資部 経営支援グループに在籍し、これまで約七〇件の事業再生案件に携わり、実績を積んできた。また、昨年から行内研修講師としても登壇し、行員の融資のスキルアップにも大きく貢献。その資格に見合った仕事振りからは、同行での、今後のキャリアアップが期待されている。



株式会社トゥー・アー・ティー 「まますぽ プロジェクト」の皆さん

教育・文化・スポーツの分野で、  
様々なサポート事業を行なっている。

### 受講システムを改善して 子育てママを応援。

育児中のお母さんの時間は少なく、自分の思い通りに進まないことも多い。これまでまなびサイトのママ&ベビー教室の仕組みは各教室ごとに会員制だったため、様々な教室を自由に参加することができなかったが、玉木さんや女性スタッフの提案により、チケット制を導入することで好きな教室を選べる上に、単発でも受講が可能になった。また各店舗で行っていた同教室を1箇所を集約した教室を開設するなど、その利便性が口コミで広まり、受講者数を大幅に伸ばした。



赤ちゃん向けの教室探しに苦労する女性を応援したいと「まますぽプロジェクト」がスタートした。



株式会社日本ピーエス 松浦 葵さん

プレストレスト・コンクリート製品の  
最先端を走る企業

学生目線で学生のために、  
とことんわかりやすく会社をPR。

入社して間もなく、採用広報  
チームに参加することになった松  
浦さん。学生時代、委員会活動で  
培ったスキルを活かし、分かりや  
すさにこだわった採用情報を発信。  
会社のPRビデオなどでは、建設  
現場で使う黒板に思いを書いて  
メッセージする、というユニーク  
な企画を実現させた。「専門技術は  
分かりづらいことが多くて敬遠さ  
れがち。良くも悪くも学生目線を  
大切に取り組みました」。現在は同  
社初となる女性技術者の長期県外  
派遣として、沖縄の橋梁工事に従  
事している。



現在は沖縄にて同社初となる女性技術者の長期県外派遣に参加中



コマツサービスエース株式会社 「レンタルフロントチーム」  
の皆さん

「オールインワンサービス」をモットーに、  
建設機械の販売・レンタル・修理を行なう。



明るいディスプレイで商品が目立つよう工夫する。  
最近では口コミ客も増えて女性スタッフの接客は好評だ。

女性ならではの細やかな  
心遣いで顧客を獲得。  
建設機械の販売・レンタル・修理、  
消耗品販売までを一体して行なう店  
舗はメーカー・販社では全国初の業  
態。開業当時からシーズン毎に店舗  
ディスプレイを変えたり、キャン  
ペーンを企画して積極的な販促を続  
けているのは、窓口の女性たちだ。  
「お客様とのプラスワントークを心  
がけています」と福井北店の山根さ  
ん。何気ない会話に相手を気遣う言  
葉を盛り込み、リピーターを増やし  
ていく。昨年は1日の平均来客数が  
100名を越え、女性の細やかな接  
客が功を奏したと言える。



福井キヤノン事務機株式会社 鳥尾 久美さん

「感動のソリューション&サポートカンパニー」を目指し、  
オフィスに最適な環境を提案。



昨年、全国の営業マンが競う「キヤノン SMC ナレッジコンテスト 2016」の  
全国大会で第5位入賞。

モノを売る営業から  
ビジネスモデルの提案へ。  
お客様から「何かあったら鳥尾さ  
ん、どんな小さなことでも頼んで  
良かったと言われたい」と話すの  
は、同社で営業部門初の女性リー  
ダーを務める鳥尾さん。企業の  
ペーパーレス化が進む中、お客様  
の業務内容を知った上で、それぞ  
れの環境下でどのように役立つか  
を提案すれば顧客満足度も高まる  
のではないかと考えた。そこで納  
入後にお客様先を取材し、改善事  
例集を作成。改善事例集を全社の  
に営業ツールとして活用し、お客  
様へのソリューション提案力の向  
上へとつながっている。

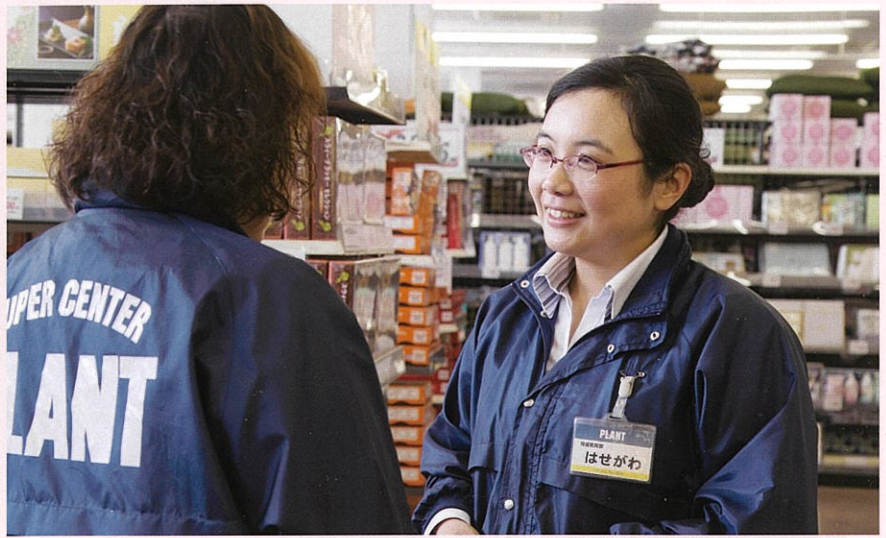


## 株式会社 PLANT 「接客サービス教育チーム」の皆さん

ホームセンターにスーパーマーケットを併設した大型スーパーセンター型店舗を展開。

大型店にこそ必要なもの  
それは温かい接客。

これまで同社は品揃えの豊富さと良心的な価格を武器に展開してきたが、さらなる飛躍を求め、従業員の接客力の向上を目指し、1年半前に「接客サービス教育チーム」を発足させた。チームは既存の接客・レジトレーナー制度を活用して、週1回のテレビMTや月1回の集会で疑問や問題点を提起し、改善を重ね、その変化は次第に現れた。まずは従業員同士につながりが生まれ、店全体の接客に対する意識が高まり、来店者数の増加につながったという。



接客に一番大切なことは「お客様が求めていることに、精一杯応じること」と話す長谷川さん。



## 社会福祉法人 足羽福祉会 井上 ゆかりさん

赤ちゃんからお年寄りまで安心して利用できる総合福祉事業として施設・サービスを運営。



名刺や封筒、ちらし、クリアファイル等に使用されるロゴマークは、法人のイメージアップにも貢献。

総合福祉施設として、歴史と実績を持つ「足羽福祉会」は今年で50周年を迎える。その記念として各事業所からロゴマークを募集したところ、井上さんのデザインが選ばれた。「利用者様と職員、人とのつながり、そして幸せであるようにとの想いを込めて」四ツ葉のクローバーを入れたデザインはボールペンや公用車のステッカーなどの様々な販促物に起用され、法人が目指す「地域に密着した福祉」を表現。広くPRに貢献している。

50周年の  
感謝と想いを込めて。



## 西田建設株式会社 加納 利唯さん

確かな技術と豊富な経験でコンサルティング、設計施工、メンテナンスを行なう総合建設業。



実は入社後に女性の現場監督が珍しいことを知ったとか。若手27歳だが建設業界に新しい風を吹き込む。

女性技術者として  
人材募集の一役を担う。

力仕事のイメージが強い建設技術者として、大規模な官庁工事などの現場監督も務める加納さんは、周囲の後押しもあり、3年前から次世代教育の一貫で、中高生のセミナーで講師をしたり、建設業協会PRビデオに積極的に出演している。実際に生徒から「建設業の見方が変わった」との意見や、同社の技術職の応募者の増加などで自身も手応えを感じ、もっと人材育成に力を入れたいと熱意を燃やす。若手の人材不足と言われる建設業界で、今後も期待が高まる。